



感謝状を受けた方々を代表してあいさつする藤森功一さん

### 茶屋場自治会発足20年 地域住民の交流深める

茶屋場自治会（外久保年昭会長）は「茶屋場自治会発足20周年記念式典」を1月23日、同自治会館で行い、子どもからお年寄りまで120人が参加して祝いました。

式典では、歴代の4人の会長と除雪など地域に貢献をした2団体に外久保会長から感謝状と記念品が贈られ、鈴木重男町長が祝辞と講話を行いました。毎年、自治会で実施している新春お楽しみ会に併せて開催。一人暮らし世帯の訪問や除雪作業奉仕、小学生と高齢者のゲーム大会、健康相談、餅つき大会などが行われ、式典のあと手打ちの「かけ」を食べ交流を深めた一日になりました。



小さな親切が大きな評価に実を結んだ葛巻中学生徒会とPTA

### 小さな親切大きな評価 葛巻中学生徒会とPTA

社団法人「小さな親切」運動県本部（代表・高橋真裕岩手銀行頭取）の「小さな親切実行章」に葛巻中学校（佐々木庸校長、生徒103人）生徒会とPTAが選ばれました。

これは、昨年8月に行った資源回収の益金で購入した車いす3台を町に寄贈したことをたたえるもの。

1月18日に同校で行われた贈呈式では、全校生徒約100人が見守る中、千田有幸岩手銀行葛巻支店長から前生徒会長の星野光亮君（3年）に感謝状が手渡されました。星野君は、「地域の役に立ちたいと思って取り組みをはじめました。賞をもらえてうれしいです」と笑顔を見せました。

### 牛のお世話やそば打ち 酪農家でホームステイ

「第11回くすまき高原牧場スノーワンダーランド2011」に参加している子どもたち34人が、1月8日から10日までの2泊3日、町内の10の酪農家にホームステイしました。

八幡勝幸さん（星野）の牧場には、李かれんさん（6年生・茨城県）と帷子佳乃さん（5年生・盛岡市）の2人が訪れ、八幡さんのおもむきと一緒にお牛の世話や牛舎の清掃をしたり、そば打ちを体験したりしました。おばあちゃんのトミさんは「こんな山っこさ来てくれて本当にうれしいです。孫たちと一生懸命、まねをしながら手伝ってくれています」と目を細めていました。



楽しくえさやりをする子どもたち、元気な声が牛舎に響いてました

### 「知識」と「技」の伝承 新町地区三世代交流会

地域に伝わる「知識」や「技」を子どもたちに伝えようと新町自治会（森信夫会長）は1月7日、同自治会館で「世代交流&元気教室」を開催しました。

これは、毎年恒例の元気教室と冬休みの子ども会行事を一緒に行うはじめての試みで、同地区のお年寄りや小中学生と親ら約80名が参加。小正月に食べる小麦だんご作りやお手玉などの昔遊び、チーム対抗スカットボールなど三世代が汗をかきながら楽しい一日を過ごしました。参加した熊谷ミヨさん（新町）は、「子どもたちが上手にだんごを作れたので驚きました」と笑顔で話していました。



広告ちらしを折りたたんで鶴やカメラなども作りました



2年連続で町長賞を受賞した(有)葛巻自動車工場のゴジラ

### にぎわい創出雪だるま 沿道に188体お目見え

まちなか活性化協議会主催（吉澤信光会長）の「まちなか雪像コンテスト」の審査が1月26日行われました。

エントリーされた雪像50点の審査の結果、2年連続で(有)葛巻自動車整備工場が町長賞を受賞。神谷義次さん（田の沢）は「雪がばさばさして作りづらかったが、今年も町長賞をもらえてうれしい」と受賞を喜びました。

3年目を迎えるこの企画には今回、城内小路～茶屋場までの5自治会や商店、町民など多くの方が参加。えとのウサギや人気キャラクターなど188体の雪像が町中に登場し、道行く人を楽しませました。展示は2月6日までの予定。

結果（町長賞除く）：議長賞 森武右衛門さん  
会長賞 岩手銀行葛巻支店



チーム一丸となって難問珍問に挑んだ参加者ら

### 町に関する知識を競う ものしり雑学王選手権

「昨年の葛巻高校の新入生は何人？」「グリーンテージのツインの洋室は何部屋あるか？」など町に関する知識を競う第4回チーム対抗ものしり雑学王選手権は1月21日、主催したグリーンテージで行われました。

出場した5人一組22チームの参加者らは、制限時間25分の間に50問の難問に挑戦。会場では「難しいなあ」「一位はもらったあ」などの声があちらこちらから聞こえてきました。これまで4回連続出場を果たしている田野菊治さん（星野）は、「思ったよりも難しかった。次は優勝を目指します」と感想を述べていました。

結果：優勝 役場総務企画課、準優勝 チーム「8分団」、3位 星野新撰組